

(9)河川の水質測定結果

河川名		年度	水素イオン濃度 (pH)			生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/l)			化学的酸素要求量 (COD)	
			m/n	%	最小～最大	m/n	%	最小～最大	n	%
淀川水系	藤本川	24	15/24	63	8.0～8.7	4/6	67	2.0～4.0	6	—
		25	19/24	79	8.0～8.6	4/6	67	1.9～4.9	6	—
	船橋川	24	23/48	48	7.7～9.6	9/12	75	1.6～3.8	12	—
		25	24/48	50	7.8～9.2	7/12	58	2.4～4.9	12	—
	穂谷川	24	39/48	81	7.7～9.9	7/12	58	1.3～6.4	12	—
		25	35/48	73	7.6～8.7	10/12	83	1.6～4.9	12	—
	黒田川	24	13/24	54	7.5～10.8	3/6	50	2.3～6.0	6	—
		25	16/24	67	7.5～8.8	1/6	17	3.0～6.6	6	—
	天野川	24	45/48	94	7.5～9.6	12/12	100	1.1～2.3	12	—
		25	39/48	81	7.7～8.6	12/12	100	1.1～3.0	12	—
	安居川	24	24/24	100	7.2～7.7	6/6	100	1.0～2.4	6	—
		25	24/24	100	7.5～7.8	6/6	100	1.0～2.3	6	—
寝屋川系	淀川左岸 幹線水路	24	24/24	100	7.3～7.5	6/6	100	0.9～1.9	6	—
		25	24/24	100	7.3～7.8	6/6	100	1.1～2.6	6	—
生活環境の保全に関する環境基準 (河川)		B 類型	6.5～8.5			3mg/l以下				
		C 類型	6.5～8.5			5mg/l以下				

- 1)m/n=(環境基準に適合した検体数)/(総検体数)但し、環境基準のない項目は総検体数のみ記入。
- 2)淀川水系各河川はB類型、寝屋川水系河川はC類型の基準値と比較した。
- 3)水素イオン濃度は水質の酸性やアルカリ性の程度を示す指標であって、pH7は中性を、それ以上はアルカリ性、それ以下は酸性を示す。
- 4)生物化学的酸素要求量は、水中の有機物が微生物の働きによって分解されるのに要した酸素の量で示した水質の指標。数値が大きいほど水質が汚濁していることを示す。
- 5)化学的酸素要求量は、水中の酸化されやすい物質を酸化剤により酸化するのに要した酸素の量で示した水質の指標。数値が大きいほど水質が汚濁していることを示す。

素要求量 (mg/l)	溶存酸素量 (DO) (mg/l)		大腸菌群数 (Coli-G) (MPN/100ml)			浮遊物質 (SS) (mg/l)				
	最小～最大	m/n	%	最小～最大	m/n	%	最小～最大	m/n	%	最小～最大
4.4～7.9	6/6	100	8.9～15	2/6	33	$2.3 \times 10^1 \sim 2.4 \times 10^4$	6/6	100		1～18
3.2～7.2	6/6	100	11～18	6/6	100	$4.9 \times 10^1 \sim 3.3 \times 10^3$	6/6	100		1～9
4.4～7.5	12/12	100	8.7～18	11/12	92	$1.3 \times 10^1 \sim 5.4 \times 10^3$	12/12	100		2～11
3.2～7.5	12/12	100	11～18	9/12	75	$1.3 \times 10^1 \sim 2.4 \times 10^4$	11/12	92		1～62
3.7～8.1	12/12	100	7.1～15	9/12	75	$2.3 \times 10^1 \sim 9.2 \times 10^3$	12/12	100		1～11
3.5～7.6	12/12	100	9.2～15	10/12	83	$1.3 \times 10^1 \sim 7.0 \times 10^3$	12/12	100		2～10
5.3～9.3	6/6	100	8.8～16	5/6	83	$7.8 \times 10^0 \sim 1.6 \times 10^4$	6/6	100		1～6
4.7～9.5	6/6	100	10～14	6/6	100	$4.0 \times 10^0 \sim 4.9 \times 10^3$	6/6	100		1～25
3.5～6.1	12/12	100	7.4～14	9/12	75	$4.9 \times 10^1 \sim 3.5 \times 10^4$	12/12	100		1～12
3.1～5.8	12/12	100	10～18	10/12	83	$3.3 \times 10^1 \sim 2.4 \times 10^4$	12/12	100		1～7
5.4～8.1	6/6	100	6.6～8.8	3/6	50	$1.6 \times 10^3 \sim 5.4 \times 10^4$	6/6	100		<1～1
4.9～6.5	6/6	100	6.9～9.2	2/6	33	$3.3 \times 10^3 \sim 2.4 \times 10^5$	6/6	100		<1～1
2.5～4.2	6/6	100	5.7～11	6	—	$9.4 \times 10^1 \sim 4.6 \times 10^3$	6/6	100		5～14
2.3～5.6	6/6	100	7.1～12	6	—	$1.7 \times 10^2 \sim 7.9 \times 10^3$	6/6	100		7～16

5mg/l以上

5,000MPN/ 100ml

25mg/l以下

5mg/l以上

—

50mg/l以下

6) 溶存酸素量は水に溶けている酸素の量をいい、数値が小さいほど水質が汚濁していることを示す。

7) 大腸菌群数は、大腸菌及び大腸菌と似た性質の細菌の総量で、し尿の流入等を示す水質の指標。

数値が大きいほど水質が汚濁していることを示す。

8) 浮遊物質量は、水中に浮遊又は懸濁している直径2mm以下の物質の量で、水の濁りの指標。

数値が大きいほど水質が汚濁していることを示す。

資料: 環境保全部環境公害課